

令和5年度 事業計画・予算 概要

1. 法 人 全 体 P 1～P 2
2. お お す か 苑 拠 点 P 3～P 8
3. 山 崎 デ ィ サービスセンター拠点 P 9～P 10
4. 地 域 密 着 サ ー ビ ス 拠 点 P 11～P 13
5. よこすか めく森こども園拠点 P 14～P 15
6. おおぶち そよ風こども園拠点 P 16～P 17

社会福祉法人 大須賀苑

資金収支当初予算書

令和 5年 4月 1日

(単位: 円)

勘 定 科 目		当初予算額	前年度予算額	増 減	
事業活動による収支	収 入	0165 介護保険事業収入	690,692,000	683,125,000	7,567,000
		0181 保育事業収入	269,302,000	283,843,000	-14,541,000
		0198 借入金利息補助金収入	1,458,000	2,290,000	-832,000
		0199 経常経費寄附金収入	2,000	11,000	-9,000
		0200 受取利息配当金収入	777,000	777,000	0
		0201 その他の収入	4,160,000	4,423,000	-263,000
		事業活動収入計(1)	966,391,000	974,469,000	-8,078,000
	支 出	0129 人件費支出	645,019,000	666,352,000	-21,333,000
		0130 事業費支出	143,953,000	146,630,000	-2,677,000
		0131 事務費支出	154,539,000	153,723,000	816,000
		0136 利用者負担軽減額	2,483,000	2,483,000	0
		0137 支払利息支出	2,579,000	3,260,000	-681,000
		0138 その他の支出	3,550,000	3,642,000	-92,000
		事業活動支出計(2)	952,123,000	976,090,000	-23,967,000
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		14,268,000	1,621,000	15,889,000	
施設整備等による収支	収 入	0204 施設整備等補助金収入	45,330,000	45,330,000	0
		0206 設備資金借入金収入	0	38,000,000	-38,000,000
		施設整備等収入計(4)	45,330,000	83,330,000	-38,000,000
	支 出	0143 設備資金借入金元金償還支出	65,730,000	59,330,000	6,400,000
		0144 固定資産取得支出	2,871,000	43,785,000	-40,914,000
		0146 ファイナンス・リース債務の返済支出	7,634,000	7,666,000	-32,000
	施設整備等支出計(5)	76,235,000	110,781,000	-34,546,000	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		-30,905,000	-27,451,000	-3,454,000	
その他の活動による収支	収 入	0214 積立資産取崩収入	1,405,000	1,414,000	-9,000
		その他の活動による収入計(7)	1,405,000	1,414,000	-9,000
	支 出	0152 積立資産支出	2,084,000	2,106,000	-22,000
		その他の活動支出計(8)	2,084,000	2,106,000	-22,000
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-679,000	-692,000	13,000
予備費支出(10)		0	0	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		-17,316,000	-29,764,000	12,448,000	
前期末支払資金残高(12)		188,710,761	218,474,761	-29,764,000	
当期末支払資金残高(11)+(12)		171,394,761	188,710,761	-17,316,000	

令和5年度 社会福祉法人大須賀苑 事業計画

法 人 名	社会福祉法人 大須賀苑
所 在 地	〒437-1302 掛川市大渕 4895 番地 TEL 0537-48-5365
代 表 者	理事長 青野 容幸
設立認可年月日	平成3年10月 5日
法人登記年月日	平成3年10月17日
法 人 番 号	3080405004701
理 事	6名 (令和5年6月 役員改選) 任期;令和5年6月～令和7年6月
監 事	2名 (令和5年6月 役員改選) 任期;令和5年6月～令和7年6月
評 議 員	7名 任期;令和3年6月～令和7年6月
法人の基本理念	当法人は、利用者一人一人がその人らしく 自立した生活を営むことができるように支えることを目指す
事 業 内 容	第一種社会福祉事業 特別養護老人ホームの経営 第二種社会福祉事業 老人デイサービス事業の経営 老人短期入所事業の経営 幼保連携型認定こども園の経営 地域子育て支援拠点事業の経営 一時預かり事業の経営 認知症対応型老人共同生活援助事業の経営 小規模多機能型居宅介護事業の経営 公益事業 居宅介護支援事業 包括支援センター
運 営 施 設	【高齢者福祉事業部】 特別養護老人ホームおおすか苑 (従来型) 定員50名 特別養護老人ホームおおすか苑 (ユニット型) 定員30名 おおすか苑ショートステイ 定員20名 おおすか苑デイサービスセンターほほえみ 定員30名 おおすか苑居宅介護支援事業所 掛川市南部大須賀地域包括支援センター 山崎デイサービスセンター 定員25名 小規模多機能型居宅介護よりみち 定員25名 グループホーム野楽里 定員18名 【児童福祉事業部】 よこすか ぬく森こども園 定員230名 おおぶち そよ風こども園 定員120名 一時預かり事業所 子育て支援センターはじめのいっぽ
職 員 数 (令和5年4月1日現在)	法人全体 名 (高齢者福祉事業部 名)(児童福祉事業部 名)

おおすか苑拠点区分 資金収支当初予算書

令和 5年 4月 1日

(単位:円)

勘 定 科 目			当初予算額	前年度予算額	増 減	
事業活動による収支	収 入	0165 介護保険事業収入	524,317,000	521,152,000	3,165,000	
		0198 借入金利息補助金収入	215,000	430,000	-215,000	
		0199 経常経費寄附金収入	2,000	11,000	-9,000	
		0200 受取利息配当金収入	727,000	727,000	0	
		0201 その他の収入	440,000	540,000	-100,000	
		事業活動収入計(1)	525,701,000	522,860,000	2,841,000	
	支 出	0129 人件費支出	336,934,000	334,413,000	2,521,000	
		0130 事業費支出	83,381,000	82,281,000	1,100,000	
		0131 事務費支出	81,315,000	88,204,000	-6,889,000	
		0136 利用者負担軽減額	2,448,000	2,448,000	0	
		0137 支払利息支出	415,000	430,000	-15,000	
		事業活動支出計(2)	504,493,000	507,776,000	-3,283,000	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)			21,208,000	15,084,000	6,124,000	
施設整備等による収支	収 入	0204 施設整備等補助金収入	14,330,000	14,330,000	0	
		0206 設備資金借入金収入	0	38,000,000	-38,000,000	
		施設整備等収入計(4)	14,330,000	52,330,000	-38,000,000	
	支 出	0143 設備資金借入金元金償還支出	20,730,000	14,330,000	6,400,000	
		0144 固定資産取得支出	2,067,000	42,504,000	-40,437,000	
		0146 ファイナンス・リース債務の返済支出	6,774,000	6,806,000	-32,000	
		施設整備等支出計(5)	29,571,000	63,640,000	-34,069,000	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)			-15,241,000	-11,310,000	-3,931,000	
その他の活動による収支	収 入	0214 積立資産取崩収入	3,000	943,000	-940,000	
		0223 サービス区分間繰入金収入	1,125,000	721,000	404,000	
		その他の活動による収入計(7)	1,128,000	1,664,000	-536,000	
	支 出	0152 積立資産支出	970,000	992,000	-22,000	
		0160 拠点区分間繰入金支出	5,000,000	16,000,000	-11,000,000	
		0161 サービス区分間繰入金支出	1,125,000	721,000	404,000	
		その他の活動支出計(8)	7,095,000	17,713,000	-10,618,000	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)			-5,967,000	-16,049,000	10,082,000
	予備費支出(10)			0	0	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)			0	-12,275,000	12,275,000	
前期末支払資金残高(12)			134,229,620	146,504,620	-12,275,000	
当期末支払資金残高(11)+(12)			134,229,620	134,229,620	0	

令和5年度

特別養護老人ホームおおすか苑従（従来型）・おおすか苑ショートステイ事業計画

1. 今年度の目標：「その人らしく安全で快適な生活を送れるように援助する」
2. 目標に対する具体的な取り組み
 - (1)「入居者のその人らしい生活をつくる」：一人ひとりの方を知ることから始め、ケアプランに反映させ、PDCA サイクルに基づいた介護を行う。
 - (2)「職員のスキルアップとチームケアの質の向上に取り組む」：施設共通の手順書を使用しお互いの基本的技術を確認する。面接制度を活用し、質の向上に取り組む。
 - (3)「安心・安全な生活環境を整備する」：平常時の事故防止対策、感染防止対策、災害への備えを行う。感染症及び災害に係る業務継続計画を策定する。
3. 活動・行事：心から楽しめる活動・行事の提供に努めるとともに、利用者一人ひとりの身体機能の低下を防ぎ、生活意欲の維持向上を目的に実施する。
4. 利用者の健康管理

〈特養(従来型)〉日常の体温等のチェック、健康診断の実施をとおり、嘱託医師の診療業務のもと疾病の早期発見に努め、入居者の健康管理を行う。

〈ショートステイ〉居宅ケアプラン及び家族・ケアマネジャーから得る診療・内服薬等の情報に基づき健康管理を行う。
5. 防災活動：火災・地震などの災害から入所者（利用者）・職員等の生命保護及び財産を守るために、防災規程に基づき防災活動を行う。
6. 職員研修計画：介護従事者として施設で仕事をするうえで求められる知識の習得と個々のレベルアップとチームとして質の高い介護サービスの提供ができることを目指し、内部研修を開催実施し、外部研修への職員派遣も行う。
7. 会議、委員会：施設福祉課会議（毎月第1火曜日）、給食会議（月1回）、ユニット会議を開催。委員会は「身体拘束廃止・虐待防止」「医療的ケア安全対策委」「褥瘡対策」「安全管理」「排せつ」「ケア向上」「行事」の委員会を設置し活動する。
8. 優先入所：優先入所検討委員会を設置して年6回の定例委員会を開催し、入所申込者名簿の作成と、優先入所順位名簿の作成及び入所の決定を行う。
9. 地域との交流：地域行事への参加協力、学生の介護体験及び芸能慰問・シーツ交換といったボランティア活動の再開を、新型コロナウイルス感染状況により判断をしたい。

令和5年度

特別養護老人ホームおおすか苑従（ユニット型） 事業計画

1. 今年度の目標：「その人らしく安全で快適な生活を送れるように援助する」
2. 目標に対する具体的な取り組み
 - (1) 「入居者のその人らしい生活をつくる」：一人ひとりの方を知ることから始める。24時間シートを作成し、ケアプランに反映させ、PDCAサイクルに基づいた介護を行う。
 - (2) 「職員のスキルアップとチームケアの質の向上に取り組む」：施設共通の手順書を使用しお互いの基本技術を確認する。面接制度を活用し、質の向上に取り組む。
 - (3) 「安心・安全な生活環境を整備する」：平常時の事故防止対策、感染防止対策、災害への備えを行う。感染症及び災害に係る業務継続計画を策定する。
3. 活動・行事：心から楽しめる活動・行事の提供に努めるとともに、利用者一人ひとりの身体機能の低下を防ぎ、生活意欲の維持向上を目的に実施する。
4. 利用者の健康管理：日常の体温等のチェック、健康診断の実施をとおり、嘱託医師の診療業務のもと疾病の早期発見に努め、入居者の健康管理を行う。
5. 防災活動：火災・地震などの災害から入所者・職員等の生命保護及び財産を守るために、防災規程に基づき防災活動を行う。
6. 職員研修計画：介護従事者として施設で仕事をするうえで求められる知識の習得と個々のレベルアップとチームとして質の高い介護サービスの提供ができることを目指し、内部研修を開催実施し、外部研修への職員派遣も行う。
7. 会議、委員会：施設福祉課会議（毎月第1火曜日）、給食会議（月1回）、ユニット会議を開催。委員会は「身体拘束廃止・虐待防止」「医療的ケア安全対策委」「褥瘡対策」「安全管理」「排せつ」「ケア向上」「行事」の委員会を設置し活動する。
8. 優先入所：優先入所検討委員会を設置して年6回の定例委員会を開催し、入所申込者名簿の作成と、優先入所順位名簿の作成及び入所の決定を行う。
9. 地域との交流：地域行事への参加協力、学生の介護体験及び芸能慰問・シーツ交換といったボランティア活動の再開を、新型コロナウイルス感染状況により判断をしたい。

令和5年度 デイサービスほほえみ 事業計画

1. 今年度の重点目標

- ①「目標：1日平均利用者数18名以上（目標：平日20名、土曜13名）」
- ②「安全で効率の良いサービスを提供するため、環境や体制を整える」
- ③「地域に根ざした社会福祉事業者として、地域住民の生活を支えるサービスを継続させる」

【具体的な取り組み】

- ・通所サービス利用者の様々なニーズに対して、居宅介護支援事業所や山崎デイサービスセンターと連携し、法人全体として幅広く対応する。
- ・事業所PRのためのパンフレットを新たに作成する。
- ・見学やお試し利用の依頼を積極的に受け、新規利用者の獲得につなげる。
- ・地域に根ざした社会福祉施設として介護等の相談窓口や情報発信基地となり、地域貢献と事業継続につなげる。
- ・管理者は、常に事業運営状況の確認をする。法令を遵守し、運営基準や要件を満たしたサービス提供を行う。
- ・フロアの整理整頓、危険箇所の定期点検を実施し、安全で過ごしやすい環境を整える。
- ・職員が効率的にサービス提供できるよう、IT化なども視野に入れて業務の整理をする。必要ならば設備投資を検討する。

2. 事業内容

利用者・家族の意向及び居宅サービス計画に基づき、通所介護計画を作成し、以下のサービスを提供する。

- ①食事サービス ②入浴サービス ③健康管理 ④送迎サービス ⑤介護相談
⑥活動（レクリエーション等） ⑦運動・体操・機能訓練 ⑧定期的なケアの見直し
⑨防災計画 ⑩事業継続計画(BCP)

3. 職員研修・会議

各職員が個別に目標を立て、目標達成の実現に有効と思われる研修や会議への参加で知識の収得、スキルアップに努める。事業所として内部研修や会議を定期的に開催し、専門職としての質の向上や事業所の対応力強化を図る。

4. 営業日及び営業時間等

営業日 月曜日～土曜日（但し12/31～1/3は休み）

営業時間 8：00～17：00 定員（平日）30名（土曜）20名

※サービス提供時間は 9：15～16：15（7～8時間）

※時間外利用：家族の都合に応じて8：00から、17：00まで受け入れる。

令和5年度 居宅介護支援事業所 事業計画

1. 今年度の重点目標

「利用者一人一人が、能力を生かしながら在宅生活を継続できるよう支援する」
「地域に根ざした社会福祉事業者として、地域住民の生活を支えるサービスを継続させる」

2. 活動内容

【居宅介護支援】 要介護者一人一人が住みなれた自宅で尊厳ある生活ができるように、利用者の心身の状態や家族状況、居住環境、意向などから生活全般の課題(ニーズ)を把握し、個別の居宅サービス計画を作成する。

【給付管理】 要介護状態区分によって定められている支給限度基準額を確認し、適切な量や単位のサービス調整をする。毎月、各サービス提供事業所の実績を確認して、給付管理票を作成する。

【要介護認定等に係る申請の援助】

【相談業務】 利用者及び家族の不安や悩みを受け止め、専門性を生かした助言や指導で、問題の解決に向けた支援をする。

【受託業務】 掛川市からの委託を受け、依頼があった場合には要介護認定調査を行う。地域包括支援センターからの委託を受け、介護予防支援・介護予防ケアマネジメントを行う。

【介護支援専門員実務研修実習受け入れ】

3. 職員研修、会議

各介護支援専門員が個別に業務目標や研修目標を立てる。目標達成の実現に有効と思われる研修や会議への参加で知識の取得、スキルアップに努める。

事業所として内部研修や会議を定期的に行い、専門職としての質の向上や事業所の対応力強化を図る。

4. 営業日および営業時間等

営業日 月曜日～土曜日（但し 12月31日～1月3日は休み）

営業時間 8:00 ～ 17:00

夜間対応 電話転送にて、営業時間外においても常に対応できる体制を確保

令和5年度 掛川市南部大須賀地域包括支援センター 事業計画

1	担当圏域	大須賀地区 人口 10,464人 高齢者人口 3,643人 高齢化率 34.81% ※R4.4月末現在
2	職員体制	主任介護支援専門員1名・看護師1名・社会福祉士2名（1名は兼務）
3	センターの方針	地域の高齢者が住み慣れた地域で尊厳ある生活を続けられるよう、心身の健康の維持、生活の安定のために必要な援助を行う。 地域住民の保健、医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とし、啓発活動や事業開設に向けて積極的に動く。 迅速で適切な事業運営のため、常に社会情勢や関連分野の情報把握、また各専門職員に必要な知識やスキルの習得、研鑽に努める。
4	事業別の実施内容	【1】 総合相談支援業務 ①実態把握：訪問や地区活動または関係機関からの情報に基づき、高齢者の生活全般について実態把握を行う。 ②総合相談：複雑かつ多様化しつつある相談内容を的確に把握、判断する。各種専門性を生かした検討と速やかな初期対応を行い、有効かつ適切なサービスまたは支援策へつなぐ。 【2】 権利擁護業務 ①高齢者虐待の早期発見、早期介入 ②成年後見制度等の利用支援 ③消費者被害への相談支援 【3】 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 高齢者の心身の状況等の変化に応じ、病院・施設・在宅を通じた包括的・継続的なケアを実施するため、関係機関で目標を共有しチームアプローチの視点を持てる体制の構築に努める。 【4】 介護予防ケアマネジメント業務・指定介護予防支援 【5】 地域におけるネットワーク活動の展開 ①地域の見守り活動の周知・拡大 ②地域の社会資源の掘り起こしと活用 【6】 認知症に関する取り組み ①認知症への理解を深める普及・啓発 ②認知症高齢者やその家族に対する支援 ③認知症疾患センターとの連携 ④認知症初期集中支援チームの業務 【7】 生活支援体制整備事業に関する取り組み 地域住民への勉強会や講座の開催。ボランティア活動への参加啓発や、新たな協力者の発掘など、地域での担い手づくりをすすめる。地域の社会福祉法人やサービス事業所とネットワークを構築し、通いの場の活用および展開をすすめる。 【8】 地域ケア会議の開催 【9】 在宅医療・介護連携推進事業に関する業務 医療と介護の両立を必要とする高齢者が、人生の最期まで住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう支援する。在宅医療と介護等のサービスを包括的に提供するため、医療機関と介護サービス事業所などとの連携を推進する。

山崎デイサービスセンター拠点区分 資金収支当初予算書

令和 5年 4月 1日

(単位: 円)

勘 定 科 目			当初予算額	前年度予算額	増 減
事業活動による収支	収入	0165 介護保険事業収入	38,753,000	38,360,000	393,000
		0201 その他の収入	10,000	40,000	-30,000
		事業活動収入計(1)	38,763,000	38,400,000	363,000
	支出	0129 人件費支出	25,627,000	27,309,000	-1,682,000
		0130 事業費支出	7,460,000	7,842,000	-382,000
		0131 事務費支出	4,942,000	4,895,000	47,000
		0136 利用者負担軽減額	35,000	35,000	0
		事業活動支出計(2)	38,064,000	40,081,000	-2,017,000
		事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	699,000	-1,681,000	2,380,000
施設整備等による収支	収入				
		施設整備等収入計(4)	0	0	0
	支出	0144 固定資産取得支出	441,000	0	441,000
		0146 ファイナンス・リース債務の返済支出	190,000	190,000	0
		施設整備等支出計(5)	631,000	190,000	441,000
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-631,000	-190,000	-441,000
その他の活動による収支	収入	0214 積立資産取崩収入	1,000	40,000	-39,000
		その他の活動による収入計(7)	1,000	40,000	-39,000
	支出	0152 積立資産支出	69,000	69,000	0
		その他の活動支出計(8)	69,000	69,000	0
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-68,000	-29,000	-39,000
		予備費支出(10)	0	0	0
		当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	-1,900,000	1,900,000
前期末支払資金残高(12)			1,730,541	3,630,541	-1,900,000
当期末支払資金残高(11)+(12)			1,730,541	1,730,541	0

令和5年度 山崎デイサービスセンター 事業計画

1. 今年度の重点目標

- ①「目標：1日平均利用者数16名以上」
- ②「当事業所のサービスとして特化したものを作り、職員間で共有し、外部へPRする」
- ③「地域に根ざした社会福祉事業者として、地域住民の生活を支えるサービスを継続させる」

【具体的な取り組み】

- ・通所サービス利用者の様々なニーズに対して、居宅介護支援事業所やデイサービスほほえみと連携し、法人全体として幅広く対応する。
- ・山崎デイサービスとして特化したサービス内容を作り、職員は自覚をもってサービスを提供する。事業所PRのためのパンフレットを新たに作成する。
- ・地域に根ざした社会福祉施設として介護等の相談窓口や情報発信基地となり、地域貢献と事業継続につなげる。
- ・管理者は、常に事業運営状況の確認をする。法令を遵守し、運営基準や要件を満たしたサービス提供を行う。
- ・フロアの整理整頓、危険箇所の定期点検を実施し、安全で過ごしやすい環境を整える。
- ・職員が効率的にサービス提供できるよう、IT化なども視野に入れて業務の整理をする。必要ならば設備投資を検討する。

2. 事業内容

利用者・家族の意向及び居宅サービス計画に基づき、通所介護計画を作成し、以下のサービスを提供する。

- ①食事サービス ②入浴サービス ③健康管理 ④送迎サービス ⑤介護相談
- ⑥活動（レクリエーション等） ⑦運動・体操・機能訓練 ⑧定期的なケアの見直し
- ⑨防災計画 ⑩事業継続計画(BCP)

3. 職員研修・会議

各職員が個別に目標を立て、目標達成の実現に有効と思われる研修や会議への参加で知識の取得、スキルアップに努める。事業所として内部研修や会議を定期的で開催し、専門職としての質の向上や事業所の対応力強化を図る。

4. 営業日及び営業時間等

営業日 月曜日～金曜日（但し12/31～1/3は休み） 定員25名

営業時間 8:00～17:00 ※サービス提供時間 9:15～16:15（7～8時間）

※時間外利用：家族の都合に応じて8:00から、17:00まで受け入れる。

地域密着サービス拠点区分 資金収支当初予算書

令和 5年 4月 1日

(単位:円)

勘 定 科 目			当初予算額	前年度予算額	増 減
事業活動による収支	収入	0165 介護保険事業収入	127,622,000	123,613,000	4,009,000
		事業活動収入計(1)	127,622,000	123,613,000	4,009,000
	支出	0129 人件費支出	96,866,000	104,972,000	-8,106,000
		0130 事業費支出	19,545,000	19,782,000	-237,000
		0131 事務費支出	10,724,000	9,041,000	1,683,000
		0137 支払利息支出	920,000	970,000	-50,000
		事業活動支出計(2)	128,055,000	134,765,000	-6,710,000
		事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	-433,000	-11,152,000	10,719,000
施設整備等による収支	収入				
		施設整備等収入計(4)	0	0	0
	支出	0143 設備資金借入金元金償還支出	14,000,000	14,000,000	0
		0144 固定資産取得支出	0	528,000	-528,000
		0146 ファイナンス・リース債務の返済支出	670,000	670,000	0
		施設整備等支出計(5)	14,670,000	15,198,000	-528,000
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-14,670,000	-15,198,000	528,000
その他の活動による収支	収入	0214 積立資産取崩収入	301,000	150,000	151,000
		0222 拠点区分間繰入金収入	5,000,000	16,000,000	-11,000,000
		その他の活動による収入計(7)	5,301,000	16,150,000	-10,849,000
	支出	0152 積立資産支出	327,000	327,000	0
		その他の活動支出計(8)	327,000	327,000	0
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	4,974,000	15,823,000	-10,849,000
		予備費支出(10)	0	0	0
		当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	-10,129,000	-10,527,000	398,000
前期末支払資金残高(12)			15,033,737	25,560,737	-10,527,000
当期末支払資金残高(11)+(12)			4,904,737	15,033,737	-10,129,000

令和5年度 小規模多機能型居宅介護「よりみち」事業計画

1. 事業方針;家庭的な環境と地域の方との交流の下で、利用者が能力に応じその居宅において自立した日常生活を営むことが出来るようにする

2. 事業所の重点目標

目標	目標達成の具体策
① 職員一人一人が、事業に対しての理解を深め、自分自身の役割について意識を持つことで主体的に事業運営に参加する	・よりみち支援会議等で、指定運営基準の概要や加算、職種別の役割や業務内容について確認する ・広報(よりみち通信)、食材等の発注、内部研修企画、ケース担当などの事業所内での業務担当を決め、自覚をもって取り組む
② 利用者一人一人の「～したい」の自己実現に努める	・利用者に対して担当職員を決め、日々のコミュニケーションを密にとることで、利用者一人一人の「～したい」を毎月1つ以上は聞き取る ・聞き取った内容は、事業所内で情報共有し、実施に向けた検討や提供に向けた取り組みを行う ・利用者の生活圏域にある社会資源を把握し、地図におとす

3. 昨年度のサービス評価に基づく項目別計画

項目	計画内容
1) 初期支援	○ケアプランは職員全員で確認し、初回プランは1ヶ月で評価
2) 「～したい」の実現	○毎月、利用者の「～したい」を確認する
3) 日常生活の支援	○利用者の状況や対応内容を確実に記録する
4) 地域での暮らしの支援	○社会資源の情報収集、資源の可視化
5) 多機能性のある柔軟な支援	○地域の支援者と顔なじみの関係作り
6) 連携	○南部ふくしあに出向き、顔なじみの関係作り
7) 運営	○毎月の実績を職員で共有し、2か月に1回事業計画の評価
8) 質を向上するための取り組み	○「思いに寄り添うケアの目標」掲示し、実施状況は毎月評価
9) 人権・プライバシー	○権利擁護について年2回研修を実施

4. 具体的内容

項目	内容
1) 個別サービス計画	○利用者が自主性を保ち意欲的な日々の生活を送ることができるよう計画作成、支援実施、計画の評価・見直しを行う。
2) 地域との交流	○地域住民・ボランティアと共に地域行事への参加を促進する。
3) 通い支援 送迎・食事・機能維持	○利用者の要望や利用者の日常生活を考慮した活動の提供 ○季節に沿ったイベントの企画
4) 訪問支援	○身体介護、生活支援、相談助言、健康状態確認、安否確認 ○地域行事への参加、地域の住民や団体と連携する。
5) 宿泊支援	○各々の状況に応じた泊り支援を行う。
6) 介護相談	○利用者、家族及び地域からの相談対応

5. 運営推進会議…「地域に開かれたサービス」「サービスの質の確保」のため「運営推進会議」(5月、7月、9月、11月、1月、3月)を開催。記録を作成し公表する。

6. 職員研修、会議等

- (1) よりみち支援会議、1回/月(第4月曜日)
- (2) 外部研修;個別研修計画等を踏まえ、質の向上に向けた研修への参加
- (3) 内部研修(学習会);研修テーマに沿った研修を毎月実施
- (4) 防災計画;防災意識の高揚を図り、基本的な対応ができるよう実施する。年5回実施

7. 事業継続計画(BCP);大規模災害など有事の際の事業継続のための計画作成

令和5年度 認知症対応型共同生活介護(グループホーム野楽里) 事業計画

1. 事業方針;法人の基本理念、経営理念に基づき、認知症対応型共同生活介護事業の経営に取り組む。入居者が安心して生活できる場所として地域に根付いた事業運営を目指す。

2. 重点目標

事業所目標	具体的取り組み内容
職員一人一人が統一した介護業務が出来るよう、ケアの標準化を図る	・グループホームの指定運営基準や加算、職種別の役割を知る。 ・介護、接遇、感染、事故のマニュアルや一日の業務の流れを定期的に職員間で確認する ・内部研修(勉強会)を毎月開催したり、テーマに沿った外部研修に職員を参加させ、事業所内で研修内容を共有する

3. ケアの具体的取り組み内容

項目	具体的取り組み内容
① 生活支援	・食事…「共に支度し共に片づける」。季節のおやつ作り。 ・入浴…清潔とリラックス。週2回以上。 ・排泄…状態変化に早めに気づき、職員・家族・医師が連携。 ・安全管理…認知症高齢者の特性を踏まえ、生活パターン、言葉の真意、サインを見逃さない。ヒヤリハットを上げて事故を減らす ・感染症への対応…持ち込まない、広げない。 ・家族との連携…手紙や電話で生活の様子を伝える。
② アクティビティ活動	・下記の取り組みを実施することで「脳の活性化」を図る。 ・地域交流;季節行事等や外部慰問の企画 ・買い物;おやつ等の買い物を実施。 ・園芸活動;季節の花・野菜を植える・育てる・収穫する ・レク活動;ユニット間の交流、作品作り、趣味活動
③ より良いサービスの提供	・気づきの記録、アセスメントの定期見直し ・ケアプランの見直し・交付(6か月、1年、随時) ・接遇…丁寧な言葉遣いを習慣化する ・研修を通じ介護技術の向上、認知症高齢者の理解に努める ・職員間のコミュニケーションを重視し、相互に向上を図る。

4. 会議・研修

<会議>ユニット会議;毎月開催(3ヶ月1回合同開催)

<外部研修>個別研修計画等を踏まえ、質の向上に向けた研修への参加

<内部研修>;研修テーマに沿った研修を毎月実施

5. 地域との連携;「運営推進会議」(5月・7月・9月・11月・1月・3月)を開催し、記録を公表する。

6. 自己評価・外部評価;質の向上と改善を目的に1年に1回自己評価をし、外部評価を受ける

7. 防災訓練計画;防災意識の高揚を図り、基本的な対応ができるよう実施する。年5回実施。

8. 事業継続計画(BCP);大規模災害など有事の際の事業継続のための計画作成

よこすか めく森こども園拠点区分 資金収支当初予算書

令和 5年 4月 1日

(単位:円)

勘 定 科 目			当初予算額	前年度予算額	増 減
事業活動による収支	収 入	0181 保育事業収入	159,606,000	164,486,000	-4,880,000
		0200 受取利息配当金収入	30,000	30,000	0
		0201 その他の収入	2,300,000	2,300,000	0
		事業活動収入計(1)	161,936,000	166,816,000	-4,880,000
	支 出	0129 人件費支出	107,267,000	113,336,000	-6,069,000
		0130 事業費支出	20,306,000	22,041,000	-1,735,000
		0131 事務費支出	31,836,000	28,945,000	2,891,000
		0138 その他の支出	2,250,000	2,250,000	0
		事業活動支出計(2)	161,659,000	166,572,000	-4,913,000
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		277,000	244,000	33,000	
施設整備等による収支	収 入				
		施設整備等収入計(4)	0	0	0
	支 出	0144 固定資産取得支出	363,000	0	363,000
		施設整備等支出計(5)	363,000	0	363,000
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		-363,000	0	-363,000	
その他の活動による収支	収 入	0214 積立資産取崩収入	500,000	280,000	220,000
		その他の活動による収入計(7)	500,000	280,000	220,000
	支 出	0152 積立資産支出	414,000	414,000	0
		その他の活動支出計(8)	414,000	414,000	0
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		86,000	-134,000	220,000
予備費支出(10)		0	0	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	110,000	-110,000	
前期末支払資金残高(12)			28,917,873	28,807,873	110,000
当期末支払資金残高(11)+(12)			28,917,873	28,917,873	0

令和5年度事業計画

【よこすか めく森こども園】

1、園の運営

開園3年目を迎えるにあたり、見えてきた課題や今後目指していきたい事柄に対応していくために、令和5年度は「整える」ということに重点を置き運営をしていく。

2、目標、目標達成の取り組み

◇子ども一人ひとりに寄り添うために

・担当制、標準的実施方法の統一 ・ノーコンタクトタイムの導入

◇保護者に寄り添うために

・フリー参観の実施 ・ICTや連絡ノートでの発信の仕方を工夫していく

◇職員のコミュニケーションを深めるために

・話合いの時間の確保（曜日を決める・定着させる）

◇業務の効率化を図るために ・ICTの活用で、業務の効率化を図る

◇教育・保育の標準化を図るために

・園全体の状況や、他クラスの教育保育を見ることが出来るように、フリーの樹幹を設ける

3、年間活動計画

- ・令和4年度の振り返りに沿った計画で進めていく。
- ・行事のねらいを再度確認し、内容を精査しながら行っていく。

4、火災・地震・消火訓練及び不審者対応訓練

- ・園児の安全確保と職員の危機管理の意識の向上を図りながら、災害の発生に備え、子ども達が自分で自分の身を守る力を養うように訓練を実施していく。

5、職員園務

- ・新しい職員体制のもと、職員間のつながりや連携を深め、現在のマンパワーを発揮できるようにしていく。
- ・それぞれの職務を明確にし、スムーズな運営を行えるようにしていく。

6、研修

- ・内部研修は昨年度に引き続き、オンライン研修を行いながら、グループ討議や短時間での話し合いや語り合いを行っていく。
- ・外部研修は、出来るだけ多くの職員が参加できるようにしていく。

7、幼稚園型一時預かり事業

- ・1号認定児の保護者の要望に対応し、預かり事業を行っていく。

8、支援センター事業内容

- ・引き続き、月2回の支援開放を行っていく。

おおぶち そよ風こども園拠点区分 資金収支当初予算書

令和 5年 4月 1日

(単位:円)

勘 定 科 目			当初予算額	前年度予算額	増 減
事業活動による収支	収 入	0181 保育事業収入	109,696,000	119,357,000	-9,661,000
		0198 借入金利息補助金収入	1,243,000	1,860,000	-617,000
		0200 受取利息配当金収入	20,000	20,000	0
		0201 その他の収入	1,410,000	1,543,000	-133,000
		事業活動収入計(1)	112,369,000	122,780,000	-10,411,000
	支 出	0129 人件費支出	78,325,000	86,322,000	-7,997,000
		0130 事業費支出	13,261,000	14,684,000	-1,423,000
		0131 事務費支出	25,722,000	22,638,000	3,084,000
		0137 支払利息支出	1,244,000	1,860,000	-616,000
		0138 その他の支出	1,300,000	1,392,000	-92,000
事業活動支出計(2)		119,852,000	126,896,000	-7,044,000	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		-7,483,000	-4,116,000	-3,367,000	
施設整備等による収支	収 入	0204 施設整備等補助金収入	31,000,000	31,000,000	0
		施設整備等収入計(4)	31,000,000	31,000,000	0
	支 出	0143 設備資金借入金元金償還支出	31,000,000	31,000,000	0
		0144 固定資産取得支出	0	753,000	-753,000
		施設整備等支出計(5)	31,000,000	31,753,000	-753,000
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		0	753,000	753,000	
その他の活動による収支	収 入	0214 積立資産取崩収入	600,000	1,000	599,000
		その他の活動による収入計(7)	600,000	1,000	599,000
	支 出	0152 積立資産支出	304,000	304,000	0
		その他の活動支出計(8)	304,000	304,000	0
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		296,000	-303,000	599,000	
予備費支出(10)		0	0	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		-7,187,000	-5,172,000	-2,015,000	
前期末支払資金残高(12)			8,798,990	13,970,990	-5,172,000
当期末支払資金残高(11)+(12)			1,611,990	8,798,990	-7,187,000

令和5年度 おおぶち そよ風こども園事業計画

1. 園の運営

認定こども園開園2年目、保護者評価や職員評価・外部評価を元に改善点を見直し、子どもの姿や園の情報を家庭に発信し連携の充実に努め、地域との交流や小学校への接続を丁寧に行う

2. 目標、目標達成の取り組み

- ① 子どもの教育・保育については保護者との連携を図ると共に、子ども一人一人を尊重し、よく聞き、表現する思いや気持ちに寄り添い発達に応じた個別の対応を行う
- ② ICTにより保護者への園情報発信を増やし、園の取り組みを理解してもらう
- ③ ICTを活用して職員の事務的業務内容を改善していく

3. 年間活動計画

- ・幼稚園行事（いちご狩り・田植え・稲刈り・陶芸教室）を継続して行っていく。
- ・入園式、保護者会総会、運動会、発表会、保育参加、参観会、卒園式などの保護者参加行事は、活動内容を検討して計画していく
- ・学校教育委員会から示されている家庭教育学級を行っていく

4. 火災・地震・消火訓練及び不審者対応訓練

『園児の安全確保』『職員が危機管理意識と責任・自覚を持ち、適切な判断のもと迅速な行動をとる』という目的のもとで毎月訓練を行う

5. 職員園務

- ・職員体制の中で、報連相を重視し、共通理解をして円滑な園運営ができるようにしていく
- ・主幹保育教諭・主任・分野別リーダーなどリーダー性を高めながら、職員の資質向上を図っていく

6. 研修

- ・外部研修（リモート）は可能な範囲で参加を増やしていく
- ・内部研修は「本園の理念・方針・目標の共通理解」「保育の具体的な実施方法」を行い、認定こども園教育保育要領の理解も図っていく

7. 一時預かり事業

- ・地域の子育て支援事業の需要になるべく応じることができるよう職員体制を整えていく

8. 子育て支援センター事業

- ・園が地域の拠点となって、子育てのさまざまな問題に関わり支援ができるようにしていく